

オーストリア・ウィーン大学

留学報告書

学部学科・研究科専攻	国際学部 国際学科		留学時学年	2 年
留 学 先	国	オーストリア	大学/機関	ウィーン大学
期 間	2025 年 2 月 4 日 ~ 2025 年 2 月 21 日			
	短期		計 3 週間	

[1] 参加した語学コースの時間数／科目名（受講科目・複数可）

- ・ 授業時間数： 週 5 回/ 4 時間授業/ 約 60 時間
- ・ 科 目 名： ドイツ語初級 (A1)

時 間	月	火	水	木	金	土	日
13 時 ~ 16 時 30 分	○	○	○	○	○	free	free
13 時 ~ 16 時 30 分	○	○	○	○	○	free	free
13 時 ~ 16 時 30 分	○	○	○	○	○	free	free

[2] 授業内容について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

ポーランド、イタリア、チリ、ブラジル、アメリカ、ロシアなど、さまざまな国から集まった 20 人の学生が、一つのクラスで英語を使ってドイツ語の授業を受けた。担当の先生はオーストリア出身で、英語でのコミュニケーションに問題はなかった。授業では、学校内の書店で購入できるドイツ語の教材を一冊使用し、3 週間にわたって進められた。さらに、毎日 3 枚ほどの宿題が課された。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

ウィーン大学はウィーンの中心部に近接しており、市内観光に最適な立地条件を備えている。朝は大学近くのカフェでクロワッサンなどのパンとコーヒーを楽しみ、夕食はスーパーで購入した食材で済ませたり、レストランで食事したりすることもできた。授業のない週末には、ウィーン市内を散策したり、有名な観光地を巡ったりしながら、ヨーロッパの建築様式やオーストリアの名高いオペラハウスなど、多彩な観光を楽しむことができた。

オーストリア・ウィーン大学 留学報告書

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

学部生たちが休みだったため、学校内の多くの施設が開放されておらず、施設を多く利用することはできなかった。

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：大学内の寮が用意されておらず、学校から徒歩 10 分の距離にあるホテルで 3 週間宿泊した。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと： 多国籍の学生たちと交流し、英語でコミュニケーションを取れることが、最も大きな楽しみだった。また、週末にはウィーン市内を観光したり、のんびりと街を散策したりしながら、ヨーロッパの雰囲気存分に満喫できた点も、3 週間の留学の大きな魅力だったと思う。さらに、オーストリアはパンとコーヒーの文化が根付いた歴史ある国であり、コーヒーとパンが好きな私にとって、とても貴重な経験となった。
- 苦労したこと： 寮ではなくホテルに宿泊したため、ホテルでの管理者とのコミュニケーション問題、コインランドリーの利用、治安とセキュリティに対する心配があった。

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上：

ドイツ語のアルファベットの読み方や基礎的な文法を学び、ドイツ語で自己紹介ができるようになるなど、基礎的なドイツ語の能力が向上した。

2) 専門知識の向上：

多国籍の人々とのコミュニケーション方法を学ぶことができ、オーストリア王族の歴史に接することができた。

3) 自己成長など

新しいことに恐れることなく挑戦しようと努力する姿を自ら発見した。また、英語で自分の意思を正確に表現できる会話能力を向上させることができ、英語学習の重要性も再び認識するようになった。

オーストリア・ウィーン大学

留学報告書

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

ドイツ語の勉強に興味があり、新しい環境で適応してみたいなら積極的にお勧めします。
オーストリアは英語でのコミュニケーションも可能なので、英会話ができれば、さまざまな経験ができると思います。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額（当時の日本円）
渡航費（旅行会社に支払った経費）	590,060
授業料以外の諸経費（教材費・課外活動・保険料等）	10,000
私生活における諸経費（食費・交通費・洗濯費等）	150,000
現地からの奨学金がある場合	0
お土産代や個人的な買い物	20,000
その他（ ）	0
留学に関する費用の総額	770,060

海外派遣留学生

オーストリア・ウィーン大学

留学報告書

